

信州大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「マイクロデブリッターを用いた被膜内口蓋扁桃摘出術の実際」に関する臨床研究を実施  
しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。こ  
の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究  
内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	マイクロデブリッターを用いた被膜内口蓋扁桃摘出術の実際
所属(診療科等)	耳鼻咽喉科頭頸部外科
研究責任者(職名)	増井智基(医員)
研究実施期間	医学部長による許可日～2028年3月31日
研究の意義、目的	小児の閉塞性睡眠時無呼吸は成長や発達の障害を引き起こす疾患です。治療法は扁桃摘出術が一般的ですが、術後出血や疼痛といった合併症の問題があります。近年になりマイクロデブリッターなどのパワーデバイスを用いた新しい術式が、従来の手術手技よりも低侵襲でより安全な特性を持つ手技となる可能性があり注目されています。2つの術式の手術成績を比較検討し臨床的特徴を明らかにすることで、適切な情報提供に貢献すると考えられます。また本邦ではマイクロデブリッターによる術式は限られた施設のみでの実施となっており、動画を用いて当科で施行する手術手技をまとめることで、標準的で安全な術式の普及に役立てることを目指します。
対象となる方	2024年8月1日から2026年3月31日の期間に当院で小児閉塞性睡眠時無呼吸の診断で手術加療を受けた方
利用する診療記録	年齢、手術の内容、手術前後の睡眠時無呼吸の評価、術後の疼痛の程度、術後出血などの有害事象、手術動画など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、各種診療記録との関係性やについて検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 増井智基(耳鼻咽喉科頭頸部外科・医員) 電話: 0263-37-2666

既存の診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

既存の診療記録には、手術動画が一部含まれますが、これらについても患者様個人を直接特定できる情報は含まれておらず、必要に応じて匿名化などの配慮を行います。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌、また手術動画の一部は動画共有サイトを用いて公開する場合がありますが、動画は限定公開とし、URLを知る者のみが閲覧可能な形での公開し、不特定多数に広く公開されるものではありません。また患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。